

《参考資料》

- 1) 遠藤玲子:爪の障害.勝俣範之(監):3分でわかるがんのケア&患者説明“これだけ”ワード 224.YORISOU がんナーシング 2020 年春季増刊.メディカ出版.2020;62.
- 2) 消費者安全調査委員会:毛染めによる皮膚障害.消費者安全法第23条第1項の規定に基づく事故等原因調査報告書【概要】.2015.
- 3) 中山貴寛(監):爪・皮膚障害の対策7 抗がん剤の副作用、爪・皮膚障害はフロースングローブで予防!がんサポート.2012;113:44-46.
- 4)清原祥夫(監):分子標的薬による皮膚障害対策1 分子標的薬による皮膚障害は出ることが前提で、早めの対策を.がんサポート.2012;112:23-27.
- 5)森文子:皮膚障害.濱口恵子,本山清美(編):がん化学療法ケアガイド改訂版.中山書店.2012;189-206.
- 6)江並亜希子:EGFR 阻害薬の皮膚症状.プロフェッショナルがんナーシング.2012;2(3):41-52.
- 7)清水宏:あたらしい皮膚科学第2版.中山書店.2011.
- 8)山崎直也:分子標的薬時代の副作用対策 第2回特有の皮膚症状とその対処法 手足の観察とスキンケアが必須.Nikkei Medical.2011;71-74.
- 9)浅子恵利(監):手足症候群の予防と対策 2 早めの対策が治療継続につながる!手足症候群の予防と対策.がんサポート. 2011;97:16-19.
- 10)山崎直也:分子標的薬に伴う皮膚障害に対する治療.がん看護.2011;16(1):28-32.
- 11)植村歩果:EGFR 阻害薬に伴う皮膚症状の予防と看護.がん看護.2011;16(1):33-36.
- 12)野地彩有里:分子標的治療に伴う手足症候群の予防と看護ケア.がん看護.2011;16(1):37-41.
- 13)信濃裕美:適切な与薬で副作用を予防・軽減する!抗がん剤の副作用対策②.エキスパートナーズ.2011;26(3):60-63.
- 14)米山恭子,滝口裕一:がん分子標的治療薬の副作用とその対策 皮膚毒性.がん治療レクチャー.2011;2(2):341-348.